

令和7年度 技術 第1学年「A 材料と加工の技術」 船橋希望学舎 世田谷区立船橋希望中学校

令和7年度 技術 第1学年 「B 生物育成の技術」 船橋希望学舎 世田谷区立船橋希望中学校

月	指導目標	評価基準	単元	学習内容	観点	十分達成A	おおむね達成B	評価方法
2月	○よりよい社会を築いていくために生物育成に関する技術を適切に評価し、活用させる。	生活を主体的に取り組む態度 ・生物育成に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較、検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。	B:生物育成の技術	①私たちの生活と生物育成 ・生物育成とは ・作物の特性と技術 ②生物育成 ・生物育成のサイクル ・生物育成計画について ③作物の育成 ・栽培ごよみについて ・栽培環境について ・土壌の性質と施肥 ・育苗と植え付けについて ・定植後の管理 ・生物育成に関するレポート ・生物育成と社会	態度 知識 態度 思考判断 技能 技能思考表現 技能態度	・生物育成に関する技術が生活に果たす役割について関心を示している。 ・生物育成のサイクルや育成計画の立て方を知り栽培に見通しを持つことができる。 ・環境に対する負荷の軽減や安全な栽培方法を検討し、新しい発想を生み出し活用している。 ・条件に応じて作業の手順や肥料を適切に選択し、栽培計画を立てている。 ・日本の農業、酪農、水産業、林業などに関するレポートを作成し、生物生産する社会とのつながりを学び、まとめる。 ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・生物育成に関する技術が果たす役割について知ることができる。 ・生物育成のサイクルを知り、栽培に見通しを立てることができる。 ・安全に配慮して栽培活動に取り組むことができる。 ・手順を守り施肥を行い、計画を立てることができる。 ・生物生産について社会とのつながりについて調べ、知ることができる。 ・生物育成が社会や環境に果たす役割について知ることができる。 ・調べたことをまとめ、課題を知ることができる。	授業観察 ワークシート レポート 定期テスト
3月	○目的や条件に応じて栽培計画を立てるとともに育成する作物の観察を通して成長の変化を捉え、適切に対応を工夫させる。 ○生物の適切な管理を行い、知識を身につけさせる。	生活の思考・判断・表現 ・目的や条件に応じて栽培計画を立てるとともに育成する作物の観察を通して成長の過程を観察し、栽培管理を適切に工夫している。 生活や技術の知識・技能 ・作物に応じた適切な管理作業ができる。 ・生物を取り巻く環境や生物環境が生物に及ぼす影響や作物の育成に関する条件及び育成環境を管理する方法についての知識を身につけている。 ・生物育成に関する技術と社会や環境との関わりについて理解している。						